

## 平成28年度麻布大学同窓会宮崎県支部（あざみ会）を開催して

平成29年1月28日（土）大学同窓会宮崎県支部総会及び懇親会が、例年のごとく宮崎市にある東天閣なる一流(?)中華料理店で、前 生命・環境科学部長福山正文教授を講師としてお招きし、慎ましくも盛大に開催されました。

例年、宮崎県支部は「毎年1月、第4土曜日」に総会を開催するという、開催日を定例化した中で実施し、会員にも定着していますが、今年度は同窓会に福山教授の派遣をお願いし、県支部会員に開催案内の通知を発送後、私が所属する宮崎県高鍋保健所管内で2回も鳥インフルエンザが発生し、しかも2回目は1月24日(火) という、同窓会開催日直前でした。

第1報が24日12時30分に入り、直ちに長友宮崎県支部長（以後 会長とさせていただきます。）に情報を伝え、同窓会の開催の是非を確認しました。その際の会長の判断は、重苦しい気持ちの中「参加できるものだけの開催やむなし」でした。

宮崎県は、鳥インフルエンザ発生確定後ほぼ24時間以内に殺処分を終了し、翌日中には鶏舎消毒まで終了させるということを前提としており、見込みでは26日、どんなに遅くとも同窓会前日の27日中には防疫措置だけは終了することが予想される中、講師をお願いした福山教授への対応も考慮すると、開催まで4日残した時点で中止の判断も厳しいものだったと感じます。

さらに、鳥インフルエンザ発生により、参加者も大きく当初予定を割り込むことが予想されたため、会場へも人数の変更を報告し約1/3の規模に縮小しました。しかし、26日に防疫作業が終了すると、同窓会開催確認の電話が頻繁にかかるようになり、今度は、一転して減らした参加人数を再度増やしながらも人数が確定しないことを会場に報告する羽目となり、その挙句、会場には、懇親会の前に総会があるので、総会に参加した人数で開始させてほしいと無茶振りをしてしまいましたが、会場側はその我が儘も快く承諾してくださり無事開催にこぎつけました。結果的には、家畜保健所関係者等一部の会員の出席はままなりませんでしたが、例年とほぼ同様の顔ぶれが集まり、年に一度の懇親会も開催できました。

議事は、会長の進行により滞りなく進みましたが、その他の議案として今年度は『同窓会の開催時期』があげられました。宮崎県支部が例年開催している1月は鳥インフルエンザの発生時期で、今後も今回と同様、鳥インフルエンザの発生を常に憂慮していなければならない状態が継続します。そこで、開催時期を鳥インフルエンザの恐れがない時期に変更しようということとなりました。時期は、在学生も出席できるであろう8月末頃とし、父母会も同時に開催するという方向性を決定し、日程は事務局一任とされました。

総会終了後、福山教授から、大学の現在と過去を、淵野境界線の過去と現在の写真をスライドにした資料を使い、お話しいただきました。そして、大学は私が卒業したS61年当時と全く異なること、また、私達世代のみならず当時学生だった先輩方もお世話になった「银杏亭」や「高千穂」、「日清楼」などが、軒並み消えてしまったことを非常に寂しい思いで聞かせていただきました。

福山教授の講演ののちは、恒例の懇親会が慎ましくも盛会のうちに開催されたことをお知らせし、平成28年度同窓会開催報告とさせていただきます。

